

## 7 史跡名勝天然記念物

### (1) 史跡

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 ・備考
1	吉見百穴		古墳時代後期の230余の横穴墓群。	比企郡吉見町北吉見325ほか (36.0397, 139.4213)	個人 (吉見町)	大12・3・7	東武東上線 東松山駅
2	南河原石塔婆	2基	文応2年銘および文永2年銘の2基。多くの人名を刻む。	行田市南河原1503 (36.1798, 139.4251)	観福寺 (行田市)	昭3・2・7	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
3	野上下郷石塔婆	1基	応安2年己酉銘。現存する板石塔婆中最大。地上高5.37m。	秩父郡長瀬町野上下郷39 (36.1340, 139.1278)	小坂区 (長瀬町)	昭3・2・7	秩父鉄道 樋口駅
4	小見真観寺古墳	1基	古墳時代後期。横穴式石室を2か所持つ大型の前方後円墳。	行田市小見1124-1ほか (36.1595, 139.4768)	真観寺 (行田市)	昭6・3・30	秩父鉄道 東行田駅
5	水殿瓦窯跡	4基	鎌倉時代の瓦窯跡。押花蝶文様、剣菱紋の宇瓦も発見されている。	児玉郡美里町沼上428-1ほか (36.1911, 139.1625)	美里町ほか (美里町)	昭6・11・26	J R 八高線 松久駅
6	鉢形城跡		関東管領上杉氏と後北条氏の北関東支配の拠点の城で、荒川右岸断崖上の天然の要害地に縄張りされている。指定面積約24ha、空堀・土塁が現存する。天正18年秀吉の小田原攻めに際し開城し、その後廃城となった。	大里郡寄居町鉢形2559-1ほか (36.1097, 139.1958)	寄居町ほか (寄居町)	昭7・4・19	J R 八高線 秩父鉄道 東武東上線 寄居駅
7	埼玉古墳群		全国一を誇る大型円墳と武蔵最大の前方後円墳を含む大型古墳が群集する。	行田市埼玉56ほか (36.1263, 139.4792)	埼玉県 (行田市)	昭13・8・8 (名称変更) 昭32・7・31 (追加指定) 平1・9・22 平25・10・17 平30・10・15	J R 高崎線 吹上駅、 秩父鉄道 行田市駅
8	塙保己一旧宅	1棟	群書類従を編纂した、江戸中期の国学者塙保己一の旧宅。	本庄市児玉町保木野325 (36.2040, 139.1162)	個人 (本庄市)	昭19・11・13	J R 八高線 児玉駅
9	高麗村石器時代住居跡	2基	縄文時代中期の円形の竪穴住居跡2軒が、重複して検出された。	日高市台79-1 (35.8833, 139.3039)	個人 (日高市)	昭26・12・26	西武池袋線 高麗駅
10	宮塚古墳	1基	古墳時代末期の上円下方墳。上円部直径10m余、下方部西辺24m、東辺17m。	熊谷市広瀬山王608 (36.1516, 139.3452)	個人 (熊谷市)	昭31・5・15	秩父鉄道 大森生駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 ・備考
11	大谷瓦窯跡	1基	7世紀後半の登り窯跡。鏡瓦(蓮華紋)出土。	東松山市大谷2192-1 (36.0706, 139.4024)	東松山市	昭33・10・8	東武東上線 東松山駅
12	水子貝塚		縄文時代前期の大規模な地点貝塚。環状に分布して形成されている。3.9ha。	富士見市水子2003-1ほか (35.8456, 139.5612)	富士見市 ほか (富士見市)	昭44・9・9	東武東上線 みずほ台駅
13	栃本関跡		信州・甲州への道を押さえる位置にあり、大村氏が代々番士をつとめる。役宅は江戸後期。	秩父市大滝栃本1623ほか (35.9447, 138.8627)	個人	昭45・11・12	秩父鉄道 三峰口駅
14	比企城館跡群		畠山重忠の居館跡と伝える菅谷館跡(嵐山町)に、松山城跡(吉見町)、杉山城跡(嵐山町)、小倉城跡(ときがわ町・嵐山町・小川町)が追加指定されたもので、総じて保存状態が良好な、比企郡内の4中世城館跡で構成される。県内初の広域指定。	比企郡	埼玉県、吉見町、嵐山町、ときがわ町ほか	(「菅谷館跡」に他3城跡を追加指定・名称変更し誕生) 平20・3・28	
	菅谷館跡	嵐山町菅谷字城732ほか (36.0354, 139.3226)		(県指定) 大12・3・31 (国指定) 昭48・5・26 (追加指定) 昭52・2・3 (名称変更) 平20・3・28		東武東上線 武蔵嵐山駅	
	松山城跡	吉見町北吉見字城山1番1ほか (36.0367, 139.4208)		(県指定) 大14・3・31 (国指定) 平20・3・28 平29・10・13		東武東上線 東松山駅	
	杉山城跡	嵐山町杉山字中窪513番1ほか (36.0629, 139.3117)		(県指定) 昭21・3・31 (国指定) 平20・3・28		東武東上線 武蔵嵐山駅	
	小倉城跡	ときがわ町田黒1137-1ほか (36.0327, 139.2969)		(県指定) 昭11・3・31 (国指定) 平20・3・28		東武東上線 武蔵嵐山駅	
15	真福寺貝塚		岩槻台地に所在する縄文時代後・晩期の環状貝塚、及び低湿地遺跡。径150m。	さいたま市岩槻区城南3丁目 (35.9406, 139.7061)	さいたま市 ほか (さいたま市)	昭50・7・19 (追加指定) 平2・1・30 (追加指定) 平14・12・19 (追加指定) 平28・10・3 (追加指定) 平29・10・13 (追加指定) 平30・10・15	東武野田線 岩槻駅

No.	名称	員数	概要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	最寄り駅 ・備考
16	見沼通船堀		見沼代用水路と芝川間を接続する閘門式運河。享保16年開通、全長約1km。通船差配鈴木家住宅、木曾呂の富士塚(重要有形民俗文化財)、水神社を含む。	さいたま市 緑区大間木 152-3ほか、 川口市東内 野 594-6ほ ほか (35.8630, 139.7148)	見沼代用水 土地改良区 ほか (さいたま市 ・川口市)	(県指定) 昭30・11・1 (国指定) 昭57・7・3 (追加指定) 平14・12・19	J R武蔵野線 東浦和駅
17	河越館跡		河越重頼等の居館跡。土塁・空堀等の一部が現存する。	川越市上戸 192-1ほか (35.9309, 139.4520)	川越市ほか (川越市)	昭59・12・6	東武東上線 霞ヶ関駅
18	黒浜貝塚		縄文時代前期を中心とした貝塚を伴う集落遺跡。黒浜式土器の標識遺跡であり、縄文時代の生業や自然環境を考える上できわめて重要な遺跡である。	蓮田市黒浜 1886ほか (35.9920, 139.6625)	蓮田市ほか (蓮田市)	(県指定) 昭50・3・31 (国指定) 平18・7・28 (追加指定) 平25・10・17	J R宇都宮線 蓮田駅
19	下里・青山板碑製作遺跡		外秩父山地北東裾の小川盆地に所在する、鎌倉時代から戦国時代の板碑製作遺跡。武蔵国における板碑の中心的な生産地であったと考えられ、板碑の生産と流通だけでなく、板碑に象徴される中世の精神文化を知る上でも重要。	比企郡小川 町大字下里 字 林 殿 谷 2724-1ほか (36.0356, 139.2738)、 字西坂下前 2953ほか (36.0331, 139.2856)、 字内寒沢 1979ほか (36.0387, 139.2900)	小川町ほか (小川町)	平26・10・6	東武東上線 J R八高線 小川町駅
20	幡羅官衙遺跡群 幡羅官衙遺跡 西別府祭祀遺跡		古代幡羅郡家及び祭祀場等からなる官衙遺跡群。深谷市の幡羅官衙遺跡と熊谷市の西別府祭祀遺跡から成り、古代においては武蔵国幡羅郡に属する。深谷市教育委員会による調査では、正倉をはじめとする多数の建物群や区画施設、鍛冶場、道路など郡家を構成する諸施設を検出している。熊谷市教育委員会による調査では、7世紀後半から11世紀にかけて湧水における石造模造品を主とした祭祀が土器を用いた祭祀へと変化していく過程が判明した。	深谷市東方 字森吉ほか (36.1931, 139.3263)	深谷市・ 熊谷市ほか	平30・2・13	J R高崎線 籠原駅
	幡羅官衙遺跡						
	西別府祭祀遺跡						